

Overview

アフリカ経済は、強い国内需要、発展したマクロ経済のマネジメント、増加を続ける中流階級、政治的安定などの要素により、例を見ない成長率を持続している。アフリカ大陸の進化に伴い、アフリカ開発銀行の **Tracking Africa's Progress in Figures publication** は、アフリカの将来を担う鍵となる、過去数十年のメガトレンドを考察する。

Human Development 人間開発

過去 20 年でアフリカ大陸の人口は急激に増加し、2011 年には十億人を超えた。今後 50 年で、アフリカは世界人口の増加を牽引するだろう。この急激な人口増加は、都会化に端を発する。アフリカの都市人口は増え続けている。1960 年には、全体の人口の 19 パーセントを占めるのみだった都市人口は、2011 年には 2 倍の四億一千六百万人、39 パーセント占める事となった。これは、アフリカは将来的に、世界でも最大のメガシティをいくつも有するようになることを示唆する。

この膨大な人口を労働力に変えることで、アフリカはさらなる経済成長を激励することが出来る。ただしそれは、医療機関への平等なアクセス、きちんとした教育制度、就業機会の創出などが前提となっている。

Economic Performance, Inclusiveness, and Structural Transformation

経済パフォーマンス、包括性、制度改革

アフリカは徐々に頭角を現している。2013 年から 2015 年の間に、アフリカ大陸の GDP 成長率は、平均 5 パーセントを上回るだろう。ほぼ全てのアフリカ国家で、2012 年には平均 8.9 パーセントだったインフレ率は、2013 年には平均 6.7 パーセントにまで下がっている。マクロ経済の安定性、貿易・為替レートの自由化、新しい政策及び民間セクターに協力的なインセンティブにより、民間セクターは成長を続けている。

力強い経済成長を受け、1981 年には 50 パーセントを超えていた貧困率は、2012 年には 45 パーセント以下となった。

それに伴い中流階級は三億五千万人にまで上り、2060 年までには十一億人にまで達するだろう。しかし、この成長は全てのアフリカ国家にて起こっているわけではない。世界でもっとも不平等な国 10 カ国のうち、6 カ国はアフリカにあり、経済的不平等は解消の兆しを見せていない。増え続ける若い労働力と資源という資産を以って、アフリカは包括的成長の重要なチャンスを持している。この機会をものに出来るかどうかは、インフラに対する投資、教育と職業訓練へのアクセスの促進、民間投資・雇用創出のサポートを達成出来るかどうかにかかっている。

経済構造の変容は、アフリカの望ましい発展と、大陸の人々に繁栄をもたらす為には、必要不可欠である。貧困を緩和し、経済的不平等を減らすためには、アフリカは構造変換を受け入れつつ、健全な経済成長を維持しなければならない。生産性の高い経済セ

クターに移行し、多角化を助成することは、産業のアップグレードとイノベーションを促進し、結果として雇用創出に繋がるだろう。アフリカ経済の多角化、それに伴う農業や商品取引といった支配的セクターからの離脱は、中所得・高所得国家の地位を得るためには、必ず必要である。

Governance, Fragility, and Security 政治、脆弱性と治安

アフリカの急激な経済成長は、アフリカの人々の生活を、前例のない速さで変えている。この急激な成長は、政治の改善に促進されている。2000年から2012年の間に、89パーセントのアフリカ国家が、経済的機会と人間開発を進める事に成功し、67パーセントが政治への参加・男女同権・人権を促進する事に成功、40パーセントが治安と法律の遵守を強化する事に成功している。政治的腐敗の解決は、アフリカ開発のアジェンダの中でも、特に重要な位置を占める。

アフリカの成長は機会とリスク両方を生み出している。機会は、成長の本質的なものである。効果的に活用できた場合、アフリカ開発のポテンシャルを開放することが出来るだろう。しかし成長は壊滅的にもなりうる。都市化とスラムの発展、若者の急増、不平等性と社会的排除、環境圧力、環境破壊、新たな資源による特殊利益と資源の枯渇、それに弱いガバナンスは、全てアフリカ社会にとって深刻な負担となりえる。脆弱性とは、これらの重圧が、政府が自らの政治的または制度的プロセスの中で、処理しきれなくなり、問題が暴力に発展した時に、発生するものである。しかし、脆弱性による困難があれど、進展は可能だ。様々な脆弱国家が、過去の内戦の中で経済成長の土台を失ったが一例えば、リベリアのGDPは20年の間に90パーセントも減少したが一現在は治安と安定を取り戻し、成長と復興の道を歩んでいる。

脆弱性と内戦に影響を受けた国家、または国民を危険にさらす政治的・治安的・経済的・環境的ストレス対応の改善を図る国家には、さらに効果的で臨機応変な努力が必要である。

Regional Integration, Trade, and Investment 地域統合、貿易、投資

近年になって、アフリカはフロンティア・マーケットとしての頭角を現し、投資者達の注目を集めてきた。2012年には、アフリカへの海外直接投資は五百億米ドルにまで上り、輸出量は六千四百十億米ドルとなった。しかし、アフリカの域内貿易量は低いままだ。アフリカが完全に成長ポテンシャルを引き出すには、またグローバル経済に参加し、強まりつつあるグローバル市場との繋がりから得られる利益を得るには、地域統合は最重要である。域内貿易及び大陸内自由貿易を確立するには、貿易アジェンダを、政策と規制改革に組み込むことができ、それらの利益を最大化する事ができる政治公約が必要である。

Infrastructure Development インフラ開発

アフリカの都市化が続くにつれ、インフラに対する歳出の重要性が浮き彫りとなった。アフリカの増え続ける人口と、彼らの生活水準改善のために、家、飲料水、衛生設備といった基本的なアメニティを設立する必要がある。エネルギーと交通機関への投資も、手頃かつ信頼性のある電気へのアクセス増加、交通機関の接続性、そして交通機関のコストと時間削減に貢献するだろう。

同時に、アフリカの消費者層の増加は、携帯電話とインターネット使用の激増に繋がった。ブロードバンドのサービス区域は 16 パーセントに上り、2060 年までには 99 パーセントとなる事が予想されている。

Agriculture, Food Security, and a Greener Environment 農業、食料安全保障、環境保全

農業生産は増えているが、作物の改善によるものではなく、農地を広げているからである。増加を続ける都市人口を養うには、最新テクノロジーと、様々な生産性の高い作物の導入で、生産性を高める事が必要となるだろう。

統合されたバリュー・チェーンによる農業と食糧安全保障の強化は、農村部に住むアフリカ人の暮らしを向上させることが出来る。彼らの多くは自給自足農業に依存し、気候の変化に慢性的に弱い。アフリカの人々は土地によって生計を立てており、二億七千七百万人が、かなりの頻度でニーズを満たせない土地で働いている。農村部のインフラへの投資（道路、灌漑、電気、貯蔵設備、市場へのアクセス、環境保護システム、供給ネットワークなど）を続けることで、アフリカ国家は農業生産性と競争力を伸ばす事が出来るだろう。